

## 労働組合弾圧を目的に実行された家宅捜索の実態を証言！

### JR総連・東労組＝過激派・革マル派

### という図式は警視庁公安部のテッキ上げた！

## 業務上横領事件・国家賠償請求訴訟（12.7国賠）証人尋問

2008.10.7 13:30～

東京地裁709号法廷

### JR総連特執・四茂野修さん

JR総連の国際交流活動のために運用する「国際交流資金」と、JR総連定期中央委員会確認に基づいて設置された国際交流推進委員会（現在の国際委員会）が運用する「国際交流基金」の違いを、その組織・活動・資金運用などの側から具体的に明らかにし、松崎明さんが「横領」したとする公安警察のシナリオを事実をもって粉碎しました。

また、この間のJR総連及び国際交流推進委員会が行ってきた国際連帯活動を具体的に明らかにし、松崎さんが国際推進委員会などの各団体・組織を「革マル派の幹部として影響力を背景に、自らの意のままに資産管理・運用していた」とする公安警察の主張が、事実のねつ造であることを暴露し、家宅捜索の不当性を強く訴えました。

### JR総連特執・京力正明さん

今回の「業務上横領事件」の捜査責任者であった警視庁公安部下菌警部の証言（7月15日）が、如何にデタラメでありJR総連を過激派・革マル派に仕立て上げようとしているのかを事実に基づいて証言しました。また、この間のJR総連の活動（平和・安全・人権を守る闘い）を紹介し、社会貢献を中心とした諸活動を紹介し、極めて当たり前の労働組合活動を展開している事実を証言しました。

さらに、押収物（通帳、会計資料など）を見れば、「横領」など存在しないことは「公安が一番知っているはず」と証言し、一連の家宅捜索がJR総連に対する政治弾圧であることを強く訴えました。

### JR東労組本部中執・斉藤弘敦さん

JR東労組が如何に民主的に運営されているか、過激派が浸透する余地など全くないことを証言し、この間行ってきた具体的な活動（中国小学校建設、国際安全会議など）を紹介することで、過激派・革マル派が浸透しているということのデタラメ性を暴露しました。

『週刊現代』記事(嶋田らの言動)を利用し、JR総連＝過激派・革マル派との印象付け！  
警視庁代理人

嶋田邦彦・本間雄治ら、再び法廷で

公安警察の協力者・スパイの役割演じる！